

平成 28 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 5 月 13 日(金)19:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科

出席者：中野，平瀬，俵，片岡，坂本，濱上，本田，渋谷，田中陽，大賀，小路永，松崎，井上，矢野，山下

欠席者：池山，沖田，池田，松本，原田，田中貴，川副，古川，松尾，大石，中村，濱本，石井，城谷，原，荒木

議 題：

1. 平成 27 年度総会報告

日 時：平成 28 年 3 月 5 日（土）14:00～14:30

場 所：長崎大学医学部保健学科

総会役員：議 長 田中健一朗（医短 16 期）

副議長 陣内 達也（保 4 期）

書 記 中尾 優子（保 5 期），田中 美帆（保 8 期）

議事録署名人 福島 卓矢（保 5 期）

1. 定数確認

出席者：49 名，委任状：301 名，合計 350 名出席。

全会員総数 618 名の過半数を超えており会則 18 条により総会の開催は成立した。

2. 会長挨拶

3. 議長団の選出

議長団の立候補ならびに推薦はなく執行部に一任され，上記の総会役員が選出された。

4. 平成 27 年度事業報告

1) 事務局：会員動向の把握（正会員 542 名，準会員 76 名，合計 618 名），

理事会の開催（3 回），総会の開催（H28.3.5），発送作業（H27.12.25），

監査実施（H28.3.1），総会準備（H28.3.4）

保健学科 14 期生への入会案内及びパンフレットの作成 等

2) 学術部：平成 27 年度長崎大学理学療法学同門会卒後セミナーの開催（H28.3.5）

3) 厚生部：平成 27 年度長崎大学理学療法学同門会卒後セミナー後の懇親会の開催（H28.3.5）

4) 広報部：同門会ニュース第 19 号の発行，同門会ホームページの管理・運営

5) 機関誌編集部：理学療法探求第 18 巻の発行

上記の報告が行われ，承認された。

5. 平成 27 年度会計報告

一般会計：収入については，同門会費の納入（保健 14 期生：5 名，その他：6 名）とメディカルオンラインからの入金があったことが報告された。今後，収入として卒後セミナー参加費，支出として印刷代や通信運搬費，講師謝金があり，予算に近似してくることが報告された。

特別会計：本年度の収支は，預金利息のみであったことが報告された。

上記の一般会計・特別会計の報告について特に異論なく承認された。

6. 監査報告

監査は平成 28 年 3 月 5 日、午後 7 時より長崎記念病院リハビリテーション部において会長、事務局長、会計、監事 2 名の出席により開催し、下記の様な内容であったことが報告され、承認された。

1) 監査方法：

①帳票ならびに関係書類を閲覧し、計算書類の正確性を確認した。

②各種帳票より業務執行の妥当性を確認した。

2) 監査結果：

①帳票その他は正しく整備されており、計算書類は会の収支状況および財産状態を正しく示しているものと認められた。

②業務執行状況は適切と認められた。

3) その他：

経年、会員数の増加に伴い、印刷費や通信運搬費の増加が懸念される。一方で、機関誌事業は基幹業務であり、今後の効果・効率的な見直して欲しい。

7. 平成 28 年度事業計画

1) 事務局：会員動向の把握、理事会の開催、総会の開催、保健学科 15 期生への入会案内業務（パンフレット作成等）

2) 学術部：平成 28 年度卒後セミナーの開催。

3) 厚生部：平成 28 年度懇親会の開催。

4) 広報部：同門会ニュース第 20 号の発行、同門会ホームページの整備

5) 機関誌編集部：理学療法探求第 19 巻の発行。

上記の報告が行われ、承認された。

8. 平成 28 年度予算案

一般会計：収入は今年度同様に、セミナー参加費 15 万円、同門会費 60 万円で合計 75 万円を予定していることが報告された。

特別会計：収入については、一般会計からの繰り越し金の予定はなく、支出についても特に予定はないことが報告された。

上記の予算案について報告が行われ、承認された。

9. 役員改選（別紙）

4. 平成 28 年度事業計画

1) 事務局：

片岡氏より、現在の会員数(正会員 561 名, 準会員 74 名, 合計 635 名)について確認がなされた。また、本年度も保健学科 15 期生のへのパンフレット作成、会員動向の把握、理事会の開催、総会の開催を予定していることが報告された。

正会員 (561名)

1 期 17 名, 2 期 14 名, 3 期 22 名, 4 期 21 名, 5 期 17 名, 6 期 22 名, 7 期 17 名, 8 期 20 名, 9 期 21 名, 10 期 21 名, 11 期 16 名, 12 期 20 名, 13 期 20 名, 14 期 20 名, 15 期 16 名, 16 期 22 名, 17 期 19 名 (医療短大 : 325 名)

保 1 期 18 名, 保 2 期 21 名, 保 3 期 21 名, 保 4 期 20 名, 保 5 期 18 名, 保 6 期 18 名, 保 7 期 21 名, 保 8 期 20 名, 保 9 期 15 名, 保 10 期 18 名, 保 11 期 18 名, (保健学科 : 208 名)

院生 1 期 5 名, 院生 2 期 8 名, 院生 3 期 1 名, 院生 4 期 2 名, 院生 5 期 4 名, 院生 6 期 1 名, 院生 7 期 5 名, 院生 8 期 2 名, 院生 9 期 0 名, (院生 : 28)

準会員 (74名)

保 12 期 19 名, 保 13 期 16 名, 保 14 期 19 名, 保 15 期 18 名

院生 10 期 1 名, 院生 11 期 1 名

2) 学術部：平成 28 年度卒後セミナーの開催

坂本氏より、平成 27 年度セミナー出席者は 69 名であり、例年に比べ少なかったこと、今年度は参加者の増加を図り、9 月までに決定していくことが報告された。卒後セミナーに関する案があれば各位より提案をしてほしいとの意見があった。

3) 厚生部：平成 28 年度懇親会の開催

濱上氏より、平成 27 年度の懇親会の参加者は 33 名であったこと、本年度も平成 28 年度卒後セミナー後の懇親会の開催を予定していることが報告された。

4) 広報部

① ニュース担当：同門会ニュース第 20 号の発行

【企画案】

・巻頭言として、中野治郎会長に寄稿いただくこと、特別寄稿として、「熊本地震における D-MAT、J-RAT の経験について」会員または非会員の理学療法士に寄稿いただく予定であることが報告された。学会報告としては小児または心リハ関係の学会報告を会員に、平成 27 年度卒後セミナーの参加報告を若手会員より寄稿いただく予定であることが報告された。

② マルチメディア担当：同門会ホームページの管理・運営及びコンテンツの更新等
卒後セミナー、総会についての報告を掲載予定であることが報告された。

5) 機関誌編集部：理学療法探求第 19 巻の発行

本田氏より、理学療法探求の通信・運搬費の削減について運搬会社の検討を行ったが、大きな費用削減にはならないため、これまでどおり印刷、発送は昭和堂印刷に依頼することが報告された。また、投稿論文を増やす試みとして長崎県学会で演題発表を行った会員 2 名よりの論文を寄稿していただ

く予定であることが報告された。また、今後は機関誌を PDF 形式にしていくかなどの意見も出たが、今後の検討課題となった。

5. 平成 27 年度決算報告

渋谷氏より別紙の通り報告があり、承認された。

6. 平成 28 年度予算案

渋谷氏より別紙の通り報告があり、承認された。

7. 平成 28 年度会計報告、その他

平成 28 年 5 月 11 日現在

<一般会計>

【収入の部】

同門会費 540,000 (18 名分)

合計 540,000

【支出の部】

雑費 2,235

合計 2,235

総残高 1,771,866

<特別会計>

【収入の部】

合計 0

【支出の部】

合計 0

総残高 2,501,35

渋谷氏より、上記のごとく報告があり、すでに新入生の会費は全員分が納入されていることが報告された。その他、入学祝に USB を贈る試みがなされ、新入生の納入状況は改善しているが、今年度は振込用紙を同門会のパンフレットに添付したことが報告された。

6. その他

1) 会則の変更について

片岡氏より、現在の会則には「団体の所在地」、「団体の設立年月日」が表記されていないため、これらを明示していく必要があることが提案された。本件について承認され、総会にて承認を得ることとなった。

2) 平成 27 年度同門会卒業セミナーアンケート結果 (別紙)

片岡氏より、平成 27 年度同門会卒業セミナーアンケート結果について報告された。今後もセミナーに関するアンケートは継続していくことが提案され、承認された。また、その形式については HP を利用した方法も検討していくこととなった。

3) 熊本・大分地震における同門会会員の被害状況について

片岡氏より、各期の熊本・大分地震の被害状況について報告があった。避難生活を強いられた会員もいたが、死亡や重傷を負った会員はいなかったことが報告された。

4) 熊本・大分地震における義援金等について

4 月 16 日に発生した熊本・大分地震における義援金を日本赤十字社を通じて被災地に送ることが決定した。なお、金額は 300,000 円に決定した。

5) 同門会と大学の連携について

坂本氏より、今後の大学と同門会の連携を図っていく中で、同門会から大学側に還元できることや、同門会から大学側へ求めることを提案してほしいとの意見があった。今後の理事会での検討事項とした。

(文責 片岡 英樹)

平成27年度会計報告および平成28年度予算案（H28.3.31現在）

平成二十七年 度 会計報告

一般会計

特別会計

【収入の部】

項目	予算		備考
同門会費	600,000	430,000	20名
メディカルオンライン		8,350	
医学中央雑誌		0	
卒後セミナー参加費	150,000	144,000	会員68名 準会員1名 非会員2名
預金利息		250	
特別会計からの繰越金	0	0	
総合計	750,000	582,600	

【収支】

項目	予算	
前年度残高	1,345,196	1,345,196
今年度収入	750,000	582,600
今年度支出	750,000	693,695
特別会計へ繰越	0	0
収支	0	-111,095
総残高	1,345,196	1,234,101

【支出の部】

項目	予算		備考
印刷代	300,000	216,000	
消耗品	13,500	20,123	
通信運搬費	120,000	144,944	
講師謝金	80,000	80,000	
旅費交通費	100,000	79,600	
施設使用料	0	0	
食料費	30,000	15,228	
雑費	15,000	41,164	
報償費	66,500	69,000	
設備費	25,000	27,636	
特別会計への繰越金	0	0	
総合計	750,000	693,695	

【収入の部】

項目	予算		備考
一般会計からの繰越金	0	0	
預金利息		419	
総合計	0	419	

【収支】

項目	予算	
前年度残高	2,500,934	2,500,934
今年度収入	0	419
今年度支出	0	0
収支	0	419
総残高	2,500,934	2,501,353

【支出の部】

項目	予算		備考
一般会計への繰越金	0	0	
総合計	0	0	

平成二十八 年度 予算案

一般会計

特別会計

【収入の部】

項目	予算案
同門会費	600,000
卒後セミナー参加費	150,000
特別会計からの繰越金	0
総合計	750,000

【収支】

項目	予算案
前年度残高	1,234,101
今年度収入	750,000
今年度支出	750,000
収支	0
総残高	1,234,101

【支出の部】

項目	予算案
印刷代	300,000
消耗品	13,500
通信運搬費	120,000
講師謝金	80,000
旅費交通費	100,000
施設使用料	0
食料費	30,000
雑費	15,000
報償費	66,500
設備費	25,000
特別会計への繰越金	0
総合計	750,000

【収入の部】

項目	予算案	備考
一般会計からの繰越金	0	
総合計	0	

【収支】

項目	予算案
前年度残高	2,501,353
今年度収入	0
今年度支出	0
収支	0
総残高	2,501,353

【支出の部】

項目	予算案	備考
一般会計への繰越金	0	
総合計	0	

平成 28 年度 執行部・理事・各期代表者

執行部			
役	名前	所属	卒業期
会長(理事)	中野 治郎	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	9期
副会長(理事)	平瀬 達哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	13期
監事	田中 貴子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	5期
監事	川副 巧成	クローバー	7期
会計(理事)	渋谷 美帆子	長崎記念病院	保4期
書記(理事)	矢野 雄大	長崎大学病院	保3期
書記(理事)	小路永 知寿	原爆病院	保8期
事務局長	片岡 英樹	長崎記念病院	14期
学術部長	坂本 淳哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	16期
厚生部長	濱上 陽平	十善会病院	保4期
広報部長	石井 瞬	長崎大学病院	保1期
機関紙編集部長	本田 祐一郎	長崎大学病院	保4期

各期代表			
卒業期	氏名	所属	担当
1期	池山 睦子	光晴会病院	
2期	沖田 実	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	
3期	池田 章子	長崎三菱病院	
4期	松本 真一郎	こころ医療福祉専門学校	
5期	田中 貴子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	監事
6期	原田 直樹	長崎北病院	
7期	川副 巧成	クローバー	監事
8期	古川 裕	上戸町病院	
9期	中野 治郎	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	理事・会長
10期	俵 祐一	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	理事
11期	松尾 亜弓	池田整形外科	
12期	大石 麻衣子		
13期	平瀬 達哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	理事・副会長
14期	片岡 英樹	長崎記念病院	事務局長
15期	中村真須美	重工記念病院	
16期	坂本 淳哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	学術部長
17期	濱本 寿治	百合野病院	
保1期	石井 瞬	長崎大学病院	理事
保2期	城谷 武明	三原台病院	
保3期	矢野 雄大	長崎大学病院	理事・書記
保4期	渋谷 美帆子	長崎記念病院	理事・会計
保5期	田中 陽理	長崎記念病院	理事
保6期	大賀 智史	済生会長崎病院	理事
保7期	原 彩佳	原爆病院	理事
保8期	小路永 知寿	原爆病院	理事・書記
保9期	山下 はるか	長崎呼吸器リハビリクリニック	
保10期	松崎 敏朗	原爆病院	
保11期	荒木 奈都子	長崎みなとメディカルセンター市民病院	

＜平成 27 年度長崎大学理学療法学会同門会アンケート＞

参加者: 正会員68名 準会員1名			
アンケート総数: 37			

	男性	女性	総数
医短1～6期	0	1	1
医短7～12期	0	2	2
医短13～17期	2	6	8
保健1～5期	3	2	5
保健6～10期	9	10	19
保健11～14期	1	0	1
修士1～10期	1	0	1

●本日のセミナーはいかがでしたか？					
非常に良かった	やや良かった	普通	あまり良くなかった	全くよくなかった	記載なし
0	1	0	0	0	0
0	1	1	0	0	0
4	4	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
13	4	0	0	0	2
1	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0

●本日のセミナーはいかがでしたか？				
	非常に良かった	やや良かった	普通	記載なし
医短1～6期		・がんリハは最近のトピックスでもあるのかなと思いますので、テーマとしてとても興味があり良かったです。シンポジウムも症例を交えての話だったので臨床面で参考になりました。		
医短7～12期		・在宅でのリハビリについてのお話が聞きたかったです(訪視でリハビリをしているので)。		・がん患者さんは多いと思いますが、PTとして関わる機会が少ないです。ただ、がん患者さんのフレイルとして考えると、ほかの疾患にも通ずるものがあり、参考にもなります。
医短13～17期	・トピックスとなっている話題でもあり、大変わかりやすかった。 ・当院もがんリハを算定しはじめたばかりなので、とても参考になった。 ・実際のがんリハの実況の状況が聞けて良かった。 ・タイトルではあまり興味がありませんでしたが、がんリハの有用性をとても感じ、今まで特に意識せず入っていました、しっかり勉強したいと思いました。	・がん患者様のリハビリテーションについての理解が深まった。 ・がん患者さんへのリハビリを行う機会が少ないので(ほぼほいい)、行うときには…と考えるととても勉強になったと思います。 ・数としては少ないが、やはりがん患者さんを受け持つことはあるので、その時再学習できたらなと思いました。		
保健1～5期	・がんリハについて興味はあったが、今まで講演などを聞く機会がなく、非常に勉強になった。 ・普段学ぶことが出来ないがんリハについて学ぶことができた。 ・臨床場面に生かすことが出来るデータが多く記載されており、実際に臨床で行っている介入方法が提示されていたから。			
保健6～10期	・普段あまり関わる事のないがんリハについて特に介入法を学べたこと。エビデンスある介入も学べた。 ・がんリハに対する知識がとて深まった。 ・実際の取り組みやエビデンスを踏まえてがんのリハビリテーションについてお話しただき大変勉強になりました。また、運動SE等ががんのリハビリテーション以外にも通ずるお話も聞けて大変良かったです。 ・普段多くは拳がらない議題(テーマ)で、新しい知識が多く得られた。 ・新しい分野で、理解が十分でなかった分野だったので、とても勉強になりました。 ・最近のトピックスに沿っており、とても参考になりました。 ・最近自分の病院でもがんリハの患者様が多く、その方々のQOLを上げることの大切さについてよく考えるから。 ・今後私の働いている病院でもがんリハに取り組むことが検討されているみたいなので、ちょうど良い機会でした。 ・がんリハの現状から興味ある講演を聞くことが出来た。普段担当する事のないがんリハに興味を持つことが出来た。 ・急性期でのがんリハがどのようなものか具体的なエビデンスも含め非常に参考になった。 ・がんリハに興味があるので、具体的な実施内容などが知れてよかったです。また、在宅での介入例など興味深く聞かせていただきました。	・普段関わる事のないがんリハの考え方・アプローチを学ぶことが出来た。患者さんの心理面に対するアプローチが勉強になった。 ・がんリハがテーマだったけれど、訪問や患者教育についての話題も出て自分の身近なケースにも参考になったから。参加人数に合った教室の広さがあれば全員が話が聞きやすくなるかもしれないと思いました。 ・がんリハにもとても興味があったが、具体的な内容(アプローチ等)は知らなかったため、今回の講演で学ぶことができた。運動SEはすべての疾患に適用されるのではないかと感じた。今回の講演で学んだことをぜひ臨床で活かしていきたい。病院が在宅へつなげる際のアプローチの方法(自主トレなど)を具体的に知ることが出来た。		・がんを罹患している方のリハビリテーションに関わる機会が普段はほとんどないが、運動SEについてなど、臨床に活かせることが聞けてためになりました。
保健11～14期	・がんリハの需要やニーズが詳しくわかりやすかった。			
修士1～10期	がんリハには大変興味があり、その第一線でご活躍されている先生のお話を聞けたので。			

●同門会卒業セミナーにて今後取り上げてほしいテーマ	
医短1～6期	・会員が興味ある分野を取り上げれば参加人数も増えるのでしょうか。難しいですね。若い会員が参加しやすいテーマがいいのかもしれませんが。若い会員の症例報告とか、施設紹介とか…。
医短7～12期	
医短13～17期	・地域包括ケアの中における理学療法士の役割 ・ICU-AWの評価やアプローチについて ・地域包括ケアシステムについて ・学生(小・中・高・大)のスポーツ障害・損傷・外傷のリハ、予防ケア、予防リハ、肩関節、股関節 ・疼痛、物理療法
保健1～5期	・30年度に診療・介護報酬の同時改定があるので、医療から介護へつながる理学療法の重要性などが聞きたい。 ・運動器疾患の最近のリハビリテーションのトピック(物理療法なども含め) ・循環器疾患のリハビリテーション
保健6～10期	
保健11～14期	
修士1～10期	
●同門会に企画してほしいイベント	
医短1～6期	・同門会の会員がどのようなところに所属しているのかなと思いました。調査することで興味があるテーマなども取り上げやすいのではないのでしょうか？
医短7～12期	
医短13～17期	・卒業生によるセミナー、実技講座のようなもの(活躍されている卒業生がたくさんいらっしゃると思うので、それぞれの専門分野のことなど…)
保健1～5期	
保健6～10期	・定期的な勉強会 ・在学生に現場(病院・それ以外)で働くOB・OGの話を開ける場を提供する。学生さん達の自分たちの将来像をイメージしやすくなるかなと思われるので。 ・長崎県内の病院間の連携方法を病院ごとに知りたい。→PTとしてできることを全体で共有できるような場が欲しい。 ・多くの部門の講演や勉強会 ・長崎の病院間のつながりができるとよいと思います。他県の病院の話も聞いてみたいと思いました。
保健11～14期	
修士1～10期	
●その他、同門会に対するご意見ご要望	
医短1～6期	・いつもありがとうございます。
医短7～12期	・年に一度でもこうして同門で集まり、さまざまなトピックスを開けるのは貴重な会だと思います。医短、保健学科に関わった先生方にお話しただけると特に卒業生の関心も高いような感想(印象)をもちます。
医短13～17期	・セミナー案内時にセミナー参加費も記載してほしい。参加費があることは分かっているが、会員外の病院のスタッフに案内しやすくなる。 ・準備・運営等、いつもありがとうございます。 ・いつも色々な準備・企画していただきありがとうございます。毎回同門会の勉強会に参加すると、「同門会の名に恥じぬように頑張ろう！」と思えます。出来る限り参加していきたいので継続をお願いします。
保健1～5期	・これからよろしくお願いします。
保健6～10期	・他県在住の会員も参加しやすくするために、時間通りに会が終わると帰りの交通の件もあるのでよいかなと思います。本日はありがとうございました。
保健11～14期	
修士1～10期	